

第10回 JaF-DaF フォーラム  
講演およびワークショップ開催のお知らせ

ドイツ語圏における日本語教育および日本におけるドイツ語教育の現状や問題点について情報交換を行なう本フォーラムは、毎年ドイツ語圏大学日本語教育研究会 (JaH) シンポジウムに合わせて開催してきましたが、今年10回目を迎えることとなりました。コロナ禍の2年間はオンラインで開催し、日独から多数の参加者をお迎えして、日独の共同プロジェクトや実践報告の発表やディスカッションを行うことができました。国際交流・研究協力等に関して、自由な意見交換やネットワーク作りの場をつくるという目的もさまざまな形で実現してきています。

2023年のトリアー大学主催 JaH シンポジウムはオンラインで実施されますが、本フォーラムは記念すべき節目の年に国際交流基金さくらネットワークのご支援をいただき、日独両国からの参加者を募ってシュタイナー教育をテーマに対面で実施することといたしました。シンポジウムに出席される方も無理なく参加していただけることを考慮して、シンポジウムの一週間後に開催します。

基調講演およびワークショップのファシリテーターとしてハノーファー大学講師の楠部知佐子先生をお迎えし、対面のメリットを最大限に生かして、シュタイナー教育の外国語教育を体験を通して学べる貴重な機会です。ドイツ語教育、日本語教育等にシュタイナー教育からのヒントがどのように応用できるのか、参加者の皆さんと気づきや発見を共有できればと思います。言語教育等に関心のある方、日独の共同研究に興味をお持ちの教員、学生の方、どなたでもご参加いただけますので、多くの方のご参加をお待ちしております。参加ご希望の方は、下記の URL からお申し込みください。

2023年 JaFDaF フォーラム実行委員

杉原早紀 (ハンブルク大学)・生駒美喜 (早稲田大学)・林良子 (神戸大学)

第10回 JaF-DaF フォーラム

日時 2023年3月13日(月) 10:00-17:30

会場 ハンブルク大学 アジア・アフリカ研究所 221号室

Universität Hamburg, Abteilung für Sprache und Kultur Japans  
Edmund-Siemers-Allee 1 -Flügelbau Ost-, 20146 Hamburg

テーマ シュタイナー教育と外国語教育

参加費 無料

参加申し込み URL <https://forms.gle/2TAZwSHT2A6DqMYJ7>

申し込み締め切り 3月8日 (定員40名)

主催 JaF-DaF Forum 実行委員会

共催：日本独文学会ドイツ語教育部会

後援：国際交流基金さくらネットワーク

### <プログラム>

- 10:00-10:20 開会の挨拶 および 趣旨説明  
10:20-11:50 基調講演  
12:00 -13:30 授業実演 および ワークショップ課題説明  
14:15-15:45 ワークショップ  
16:00-17:30 グループ発表と講評、全体討論、質疑応答など  
18:00 - 懇親会（任意）

### <基調講演およびワークショップ概要>

「人間教育としての外国語の授業—シュタイナー教育の現場から—」

楠部知佐子（ハノーファー大学）

子どもたちが立ち上がって手を叩きながらリズムカルに歩く。言葉の強弱に合わせて足を踏み鳴らし飛び上がる。体を動かし、歌い、色彩溢れるノートを作り、詩やシェイクスピアを演じ、世界を論じるシュタイナー教育の外国語授業。

「教育とは、教えることではなく驚きを持って気付き発見させること」

今や世界中に 1200 校超を有する規模に広がったシュタイナー教育は、音楽や絵画など芸術を多用した授業と、子どもの発達段階に緻密に対応させたカリキュラムを特徴とします。外国語は小学校 1 年生からスタートし、音に浸る低学年の授業に始まり、母語を介さず文法を構築する中学年、言葉を通して世界と繋がる高等部の授業で完結します。ルドルフ・シュタイナーが約 100 年も前に提案したこのような外国語教授法は、興味深いことに TESOL（外国語としての英語教授法学）や認知神経科学等の最近の発見と矛盾しないばかりか、Global Issues や学習者中心の観点をとるなど、これからの外国語教育にヒントを与えてくれる部分も少なくありません。学習者がいきいきと楽しく参加し、喜びをもって外国語を使い、学びを積み上げる授業。基調講演と授業実演ではシュタイナー学校での外国語授業の実際とその背後にある考え方を TESOL に絡めて紹介し、ワークショップでは参加者の皆さんに模擬授業に挑戦していただく予定です。

### <略歴>

東京外国語大学において英語教育学者若林俊輔氏に師事し薫陶を受ける。在学中から（財）語学教育研究所に所属、卒業後は東京学芸大学附属中学校や青山学院大学等で教鞭をとるかたわら、授業研究部会研究員としてさらに教授法研究を深める。東京学芸大学における教育実習事前講義や教員志望学生自主ゼミで後進の指導にあたりるとともに、渡独までの 11 年間（財）英語教育協議会 ELEC にて中学高校英語教員のための研修会講師を毎年勤める。共著に高等学校検定教科書、英和辞典等。コロンビア大学教員大学院にて TESOL 専攻、平和教育コース修了。2009 年シュタイナー教育研究のため渡独。2016 年からハノーファー大学で英語の教鞭をとっている。市民大学（VHS）では日本語教師としても活躍。